

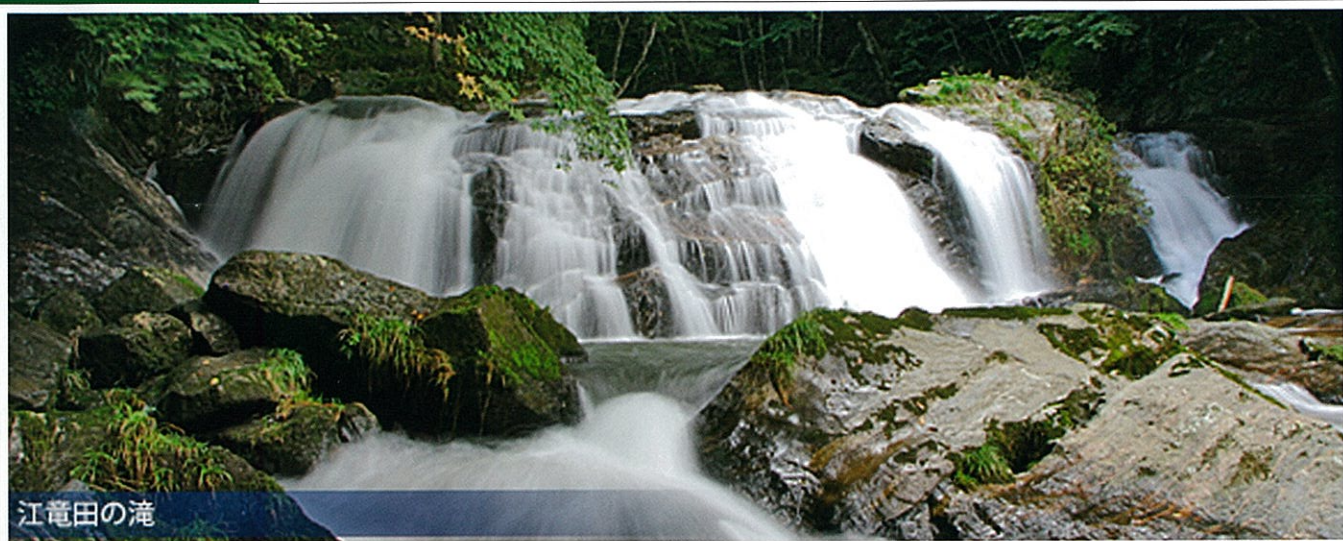
第3回

木質バイオマス公開セミナー



枯渇する化石燃料への供給対策、さらに地球温暖化防止とCO2削減策として既に全国の各施設においても木質燃料の活用が実現化されています。

この度の東日本大地震による原発の事故を踏まえ、今後は原子力発電に代わるエネルギーの確保が必要であり、このセミナーでは先進地の事例を視察しながら情報を交換し、新エネルギーのあり方を再考します。



江竜田の滝

日時：平成23年7月6日(水) 午後3時00分

会場：鮫川村村民保養施設「さぎり荘」

TEL 0247-49-2205

入場無料

木質バイオマスとは？

「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のことを呼びます。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類があります。

一口に木質バイオマスといっても、発生する場所(森林、市街地など)や状態(水分の量や異物の有無など)が異なるので、それぞれの特徴にあった利用を進めることが重要です。

開催内容

- ①鮫川村におけるバイオマスヴィレッジ構想の取り組み
講師：鮫川村役場農林課主査 石井 洋平 氏
- ②公共施設における木質ボイラーの導入
講師：(有)ウエガイト建築設計事務所 上垣内 伸一 氏
- ③木質ボイラーの活用事例と現地視察
講師：(株)アーク 専務取締役 岩城 和男 氏

■主催／阿武隈・八溝木質バイオマス協議会

■後援／鮫川村、福島民報社、福島民友新聞社、東白日報社、夕刊たなぐら

【お問い合わせ先】

阿武隈・八溝木質バイオマス協議会事務局
TEL:0247-46-2571 FAX:0247-34-1425